

かお・人・interview

2024年12月26日

団体長
インタビュー



インフラを整備し、 安全安心な地域社会を

一般社団法人 熊本県測量設計コンサルタンツ協会
内田 貴士 会長

熊本県測量設計コンサルタンツ協会は、藤本祐一前会長の全国測量設計業協会連合会会長就任に伴い、今年10月、内田貴士氏(前副会長)が新会長に就任した。前会長が築いてきたものを引き継ぎ、さらなる業界発展を目指す。これまで県内の道路、河川などの社会資本整備、橋梁などの点検・維持管理を行うとともに、災害対応や社会貢献活動を通じて、地域の安全安心なまちづくりに貢献する。内田会長に直面する課題や今後の展望などを聞いた。

会長就任にあたっての抱負

藤本前会長がこれまで長年にわたって築いてきた業界・協会の地位向上への取り組み(経営環境改善、広報活動、技術力向上など)をこれからも着実に進めるとともに、働き方改革や生産性の向上など新たな課題にも協会全体で取り組みたい。

引き続き、安全安心な社会資本整備や適切な維持管理に貢献し、県民生活の向上に寄与していく。

また近年、全国的に豪雨や地震など自然災害が多く発生している。初動対応や早期復旧・復興に努めるとともに、地域活性化や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域社会の一員として、当協会の果たすべき役割を進

▲熊本県との意見交換



県内のDXを用いた災害査定への導入等も進めており、人材不足解消や働き方改革の推進につながることを期待する。

団体を担って意識して いこう

安全安心な社会資本整備や適切な維持管理に貢献して、引き続き県民生活の向上に寄与していくためには、発注者の信頼と安心を得ることが必要である。

希望の見える予算確保を

発注機関への要望等

我々業界は、公共事業の受注産業であり、経営の安定や担い手確保を含めて持続していくためには、公共事業費の将来にわたって継続的かつ安定的な予算確保が重要であり、最近の人員費や物価高(ソフトウェアなど)を反映した公共事業費総額の増額は必要不可欠。当面は、国土強靱化実施中期計画の策定、国土強靱化地域計画の策定による必要かつ十分な、

◀協会員現場研修



インターンシップ受入れ
(九州測量専門学校、開新高校、熊本工業高校、熊本農業高校)▽測量設計業の実技支援
(熊本工業高校、天草工業高校)▽特別発表会の開催
(天草工業高校、阿蘇

協会の業務内容

協会は、1973年に設立し、会員数は28社から71社(2024年6月1日現在)。

総務厚生委員会、経営広報委員会、技術委員会の3委員会を設け各種活動を積極的に推進している。主なものとして、

《総務厚生委員会》
BCP(事業継続計画)の策定促進▽社会貢献活動(能登半島地震・能登半島豪雨への支援等)▽親睦活動(ボウリング大会、ゴルフ大会、ソフトボール大会)



インターンシップ▶

めていきたい。

新4Kの業界づくりへ

業界の課題や展望

当業界も、若手技術者の確保と後継者の問題が顕在化しており喫緊の課題でもある。官民連携して小中学生、高校生、親御さんを含めて認知度向上を図る取り組みをしていく必要がある。インターンシップや説明会(知ってもらう活動)などを通じて、業界の魅力や仕事のやりがい発信し、興味を持ってもらえるよう、今後も継続していきたい。

さらには、魅力ある業界にしていくために、BIM/CIMなど生産性の向上を図る取り組みを官民連携して進めることが重要。3K(きつい、汚い、危険)からの脱却を図り、新3K(給料・休暇・希望)に「かっこいい」を加えた新4Kの業界となるよう取り組んでいかないとけない。

災害に対する体制づくりも強化しなければならぬ。当協会は、鹿児島県測量設計業協会(安永幸信会長)と静岡県測量設計業協会(服部剛明会長)の3者間で、広域災害時相互応援に関する協定を結び、災害対応状況や課題等を共有しながら、定期的な情報交換を行っている。

有事の際、円滑に業務を進めるためには、他県との関係性(つながり)が重要。広域的な連携を図っていくことが必要である。



中央高校、熊本工業高校)

《技術委員会》

RCCM資格取得支援講座▽技術委員会勉強会Ⅱ① 会員講師による研修・年2回②外部講師・発注機関・広域コンサル、メーカー等)による研修・年9回▽技術発表会(会員技術者の発表会)※注2003年からこれまで19回開催し222名が発表

趣味や健康法など

趣味は上手くはないゴルフ。学生時代に陸上(長距離)を始め、若い頃はマラソンにも出場していたが腰を悪くして、今は走っていないです。

座右の銘は「初志貫徹」。私はもともと技術屋であり、こうと決めたら最後までやり通すことを信条としている。頼られたらやるしかない性格で、それをやっているときの自分が一番生き生きしていると感じる。



PROFILE
熊本県測量設計コンサルタンツ協会会長。4期7年の副会長を経て、2024年10月から現職。父の後を継ぎ、2008年に(株)興和測量設計社長に就任。熊本市出身。1970年4月生まれの54歳。

重点施策

1. 公共事業費の安定的・継続的予算の確保
2. 国土強靱化実施計画中期計画(国土強靱化地域計画)の策定による必要な予算の確保
3. 人員費及び物価高(サブスク経費を含む)等を反映した公共事業費総額の増額
4. 地元企業の活用・育成と履行期限の平準化
5. 官民連携した測量設計業の認知度向上と人材確保
6. 官民連携した生産性向上への取組み(BIM/CIM等)
7. 災害対応力の強化とデジタル査定等安全性・効率性へ取組み